

一〇〇〇番

児こらしあらば 二人ふたり聞かむを 沖おきつ渚すに 鳴なくな
る鶴たうの 暁あかときのこゑ声

一〇〇一番

ますらをかりは み狩たに立たし 娘をとめ子らは 赤裳あかもすそび裾引
く 清きよき浜はま辺びを

一〇〇二番

馬うまの歩あゆみ 押おさへ留とどめよ 住すみのえ吉の
ほひて行ゆかむ 岸きしの黄はにふ土にに